

「災害時多言語支援センター設

川崎市国際交流センターでは、川崎市や周辺地域で大きな災害がおきた時に、外国人市民をサポートするため、第3回「災害時多言語支援セン ター設置訓練」を、昨年の11月29日(日)に行いました。

町内会と外国人市民を含むボランティアと連携し、ロールプレイ形式で行いましたが、思い通りにいかないことも多く、訓練をすることでいろい ろな課題が見えてきたようです。訓練を重ね、それぞれが力を合わせ、より大きな力を発揮できるようにしていくことが大切だと思いました。

訓練終了後、通訳ボランティア役として参加していた張亮さんと、避難者役で参加していた中森ジュリアみどりさんのお二人にお話を伺いました。

中国出身

2002年に来日しました。来日当初から多くの人に支えてもらってきたので恩返し をしたいと思い、このようなボランティアに参加しています。

日本語がわからない外国人は情報がないことで不安になります。まずは相手が 困っていることを理解し、心のケアをすることが大切です。

外国人が日本人と一緒に困難に立ち向かっていくために、課題に取り組んでいき たいと考えています。このような訓練を行ってもらえることにも感謝しています。

今日の訓練は難しかったこともありましたが、それぞれの組織のつながりがしっ かりしていけば、もっと上手く回っていくことができると思います。今後も訓練を重ね ることが必要です。

中森ジュリアみどりさん ブラジル出身、他機関ポルトガル語相談員

3.11の時はポルトガル語通訳の仕事で新宿にいて、その日は帰 宅出来ませんでした。私は日本語で情報を得ることが出来ましたが 不安でした。日本語がわからない方はもっと不安だったと思います。

日本は地震を含む災害が多い国です。素早く情報を多言語で伝 えるのは重要ですが、120カ国の外国人市民がいる川崎市の皆さ んにそれぞれの言語に訳すのは不可能です。

そこで役に立つ言葉などを「やさしい日本語」で学ぶのが大事で す。日本人も「やさしい日本語」の理解を深めて外国人に接してほし いです。

実際に災害が起こった時には、外国人と日本人が一緒に避難するので、もっと混乱が予想されます。普段から地域と行政が手を組んでいくことが大事だと思 いました。



避難してきた外国人の 聞き取りを通訳する 張亮さん(右)(訓練)





中森ジュリアみどりさん

災害時通訳ボランティア

この訓練にあわせ、川崎市国際交 流協会では毎年「災害時通訳ボラン ティアセミナー」も開催し、出席者に は講義後に訓練に参加していただき、 任意で「災害時協力ボランティア」に 登録していただいています。

(取材・文:編集ボランティア 相沢明子/写真:編集ボランティア 安田芳郎)

2月6日、今年も無事、「外国人市民による日本語スピーチコンテス 編集後記 ト」を開催することができました。折しも、新型コロナウイルスによる 緊急事態宣言の最中だったので、果たして、外国人出場者は集まるのだろうかと不安がありまし たが、嬉しいことに、5カ国11名の方から出場の応募をいただくことができました。

今回、初めてスピーチコンテストの模様をYouTubeで生配信することにしました。コロナ禍の

ため、一般視聴者の来場を制限せざるを得なかったからです。 出場される外国人の方からは、しばらく会うことが許されない出身国、地域の両親や友人に も晴れの舞台を見せることができると、喜びの声につながりました。

そして今回も、レベルの高いスピーチコンテストが繰り広げられました

(公財)川崎市国際交流協会 島田秀雄

企画・校正にたずさわった編集ボランティア(執筆・撮影者は別掲)

青柳尚子、川野辺幸夫、小島俊彦、正一 努、鈴木宗臣、坪田四郎、徳永雅子、二村真梨絵、 水野裕子、森 千里

JA セレサ川崎 中原支部、鷺沼教室、王禅寺ヨネッティ教室、総合自治会館教室、中原市民館教室、川崎市民 プラザ教室、多摩市民館教室、てくのかわさき教室、NEC グリーンスイミング教室、たまプラ

生徒募集中 入学随時 連絡先: 090-5412-9963 橋本







印刷・製木 八幡印刷株式会社 T212-0016 神奈川県川崎市幸区南幸町1-25-3-201 TEL 044-542-2311 FAX 044-542-2312 行

川崎市国際交流センター

T211-0033

川崎市中原区木月祗園町2番2号 TEL 044-435-7000 FAX 044-435-7010

E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp https://www.kian.or.jp/kic/

